

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-5 居住環境づくり
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農村整備課長 中藤 直孝	電話番号	0852-22-5176
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	農業集落排水事業		
目的	(1) 対象	農村住民	
	(2) 意図	農業用水や公共水域の水質を保全し、安全で快適な生活環境を提供する	
事業概要	・農業集落排水施設の整備事業（快適な農村生活環境とするため、農村住民の住居等に対し、農業集落排水施設の整備を行う）		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	農業集落排水施設による汚水処理整備の増加人口	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	計画期間中に農業集落排水事業により汚水処理施設が整備された処理人口の増加数の累計	目標値	0.00	70.00	200.00	300.00
			実績値	0.00	80.00	330.00	330.00		
			達成率		114.30	165.00	110.00		%
指標名	式・定義	農業集落排水施設による汚水処理整備の増加人口	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値	0.00	0.00				
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率	0.00	0.00				%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	54,975	69,753
うち一般財源 (千円)	375	690

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

農業集落排水事業では、島根県生活排水処理ビジョン（第4次構想）に基づいて農業振興地域を中心とした生活排水の処理を実施している。平成26年度末の島根県汚水処理人口普及率は77%に達しており、農業集落排水事業はこのうちの14%を担っている。なお、地区数ベースでは計画した167地区の87%（148地区：実施中2地区を含む）が完了している。うち、湖沼水質保全特別措置法により水質保全策を総合的に講じている穴道湖・中海水域で計画した85地区の98%（83地区：実施中2地区を含む）が完了している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

成果参考指標としている汚水処理施設が整備された人口の増加数は、平成26年度末までの目標300人を上回る330人を達成した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
成果参考指標としている汚水処理施設が整備された人口の増加数は目標を達成しているが、島根県の汚水処理人口普及率は、平成25年度末全国平均の89%に対し76%であり、依然として遅れた状況にある。さらに、1981年から現在までに整備した148地区の処理施設が、設置から30年を順次経過し修繕・更新の時期を迎えるため、今後とも農業集落排水事業による整備と更新が必要である。
- ②困っている状況が発生している「原因」
汚水処理人口の普及状況は、平成26年度末で全県77%に対し、東部地域で91%、西部地域で45%、隠岐地域で68%と地域間格差が生じている。また、施設の老朽化は年々進行しており、老朽化に対応した対策を講じる処理場や管路施設は年々増加傾向にある。
- ③原因を解消するための「課題」
平成26年度及び平成27年度の整備予算は、前年度の補正予算等を含めても不十分であり、平成28年度以降の予算も不透明な状況にあることから、計画的な事業推進のためには、当初予算での予算確保が重要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

普及進捗が遅れている県西部を中心とした市町村と課題を共有し、技術や計画面での支援を行うことで、市町村に最適な汚水処理施設整備手法を選択して貰い、汚水処理施設整備を推進していく。また、修繕・更新が必要な処理施設については、施設の機能診断を実施し、処理区の統合を含めた最適な修繕・更新計画を策定するように、施設の管理主体である市町村を指導する。
また、平成28年度以降の整備に必要な予算を、当初予算として確保できるように国に対して要望すると共に、整備コストの削減を指導していく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）